

国の基本方針「経済財政運営と改革の基本方針2025(骨太方針)」⇒農林水産業の構造転換による成長産業化及び食料安全保障の確保を図るため、以下の取組を行う。

■農業コスト低減とスマート化

新たな基本計画に基づき、農地の大区画化や共同利用施設の再編・集約化、スマート技術の開発を推進

■地域計画に基づく農地集約化支援の抜本的強化

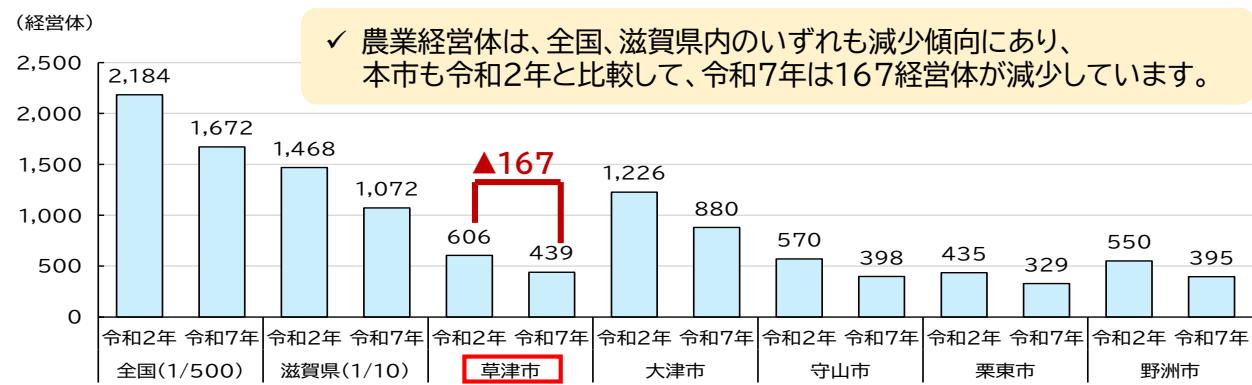
生産性向上に取り組む農業者が意欲を持って営農でき、食料の安定供給が確保されるよう、地域計画に基づく農地の集約化の支援に関する既存制度の見直し・強化

■新規就農・法人参入支援の推進

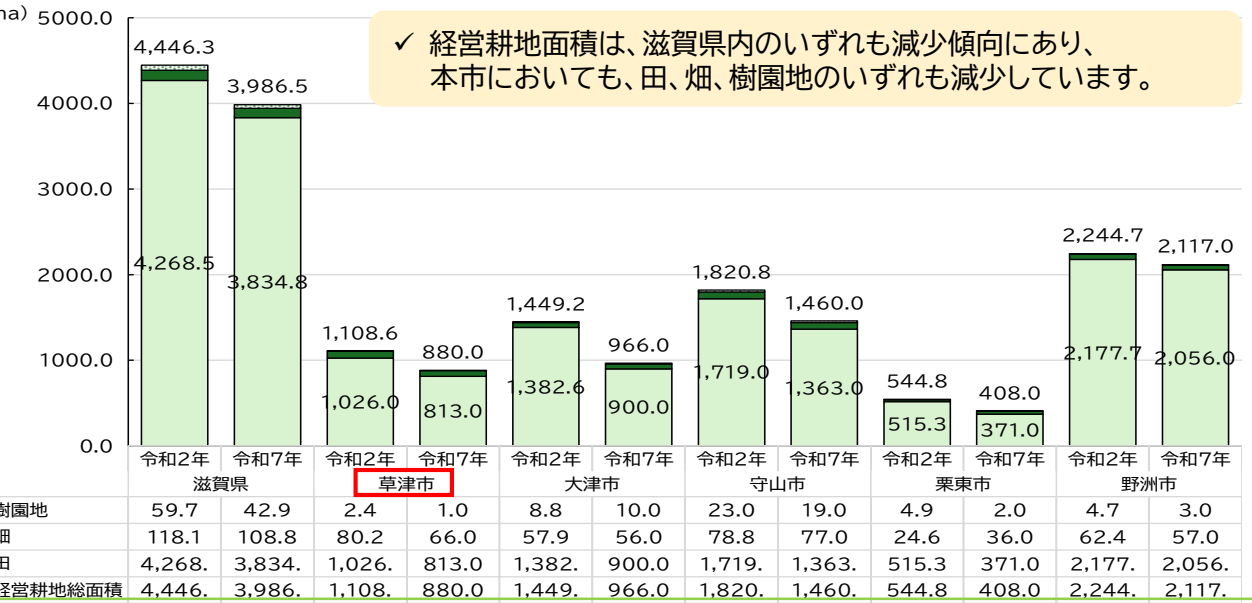
食料自給力確保に向けた、農林水産高校への支援を含む新規就農や法人参入の支援

統計データ

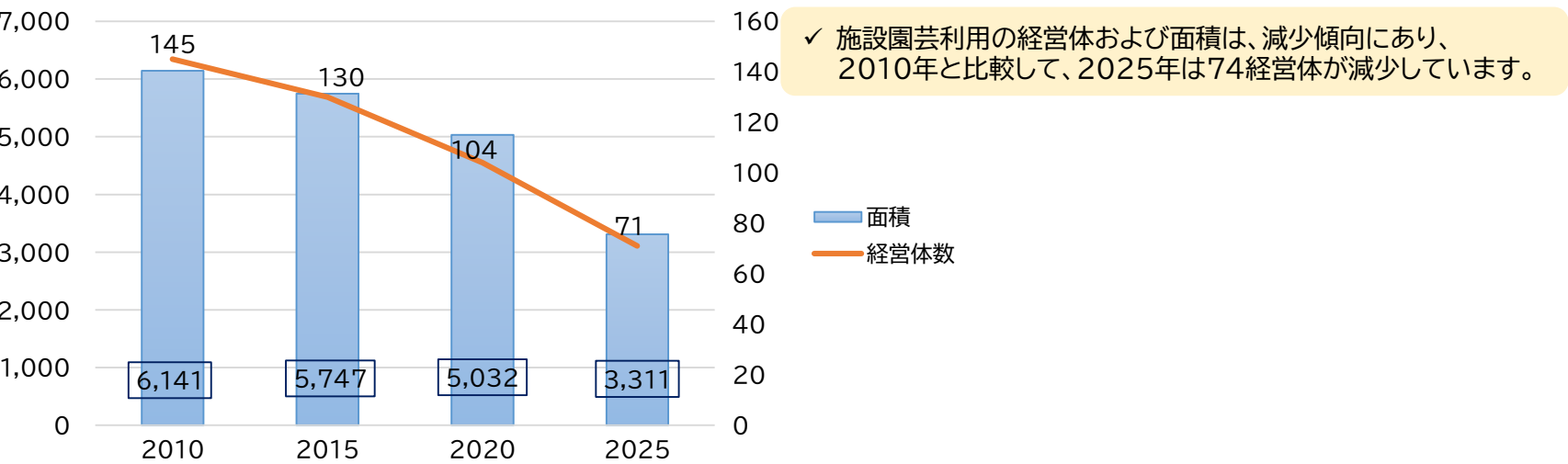
○農業経営体の推移 資料:農林業センサス



○経営耕地面積の推移 資料:農林業センサス



○草津市の施設園芸利用の経営体数および面積 資料:農林業センサス



○大津(滋賀県)の気象データ 資料:気象庁HP

✓ 最高気温は少しずつ上昇傾向にあり、特に猛暑日が増加しています。

年	最高気温(℃)	最低気温(℃)	最高気温35℃以上の日数	日照時間(h)	降水量(mm)
2015	37.5	-1.8	10	1,821.0	1,939.5
2016	36.3	-4.0	13	1,887.1	1,763.5
2017	35.7	-2.7	1	1,903.7	1,581.0
2018	38.0	-4.5	26	2,045.0	1,768.0
2019	36.6	-1.9	11	1,823.0	1,494.0
2020	37.7	-2.3	19	1,893.9	1,645.0
2021	36.4	-3.4	4	1,611.7	1,816.0
2022	37.3	-2.0	15	2,049.0	1,482.0
2023	38.5	-3.8	31	2,069.9	1,407.5
2024	38.1	-1.7	44	1,959.0	1,670.0
2025	38.2	-3.8	46	2,082.2	1,168.5

現状の課題

- 経営体の減少:直近5年で約3割が減少。担い手不足による農地受け入れの困難化
- 生産の不安定化:気候変動や地力低下による作柄の不安定化
- 園芸産地の危機:施設利用経営体の減少と後継者不足。新規就農者の確保が急務

持続的発展への方向性

- 地域計画:地域での話し合いを通じた農地の集積・集約・大区画化の推進
- スマート農業の導入:スマート農機を活用した省力・省人化により担い手の労働生産性を向上
- 担い手支援:新規就農者の確保と育成の推進
- 園芸産地の保全推進:産地の衰退を食い止めるための施策の検討